

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和6年5月23日		
開催時間	10時～11時		
開催場所	グランメッセ熊本		
主催者	RX Japan株式会社		
研修会等の名称	農業WEEK 通称:J-AGRI(ジェイアグリ)		
講師等の氏名等	九州農政局長 北林英一郎 氏		
内容・結果等	【講義名】「九州農業のさらなる発展」 1.九州地域の農業		
	2.直面する課題(担い手不足…経営体は10年前比33%減、肥料資材価格高騰R5がピーク)		
	3.気候変動と農業への影響 4.物流2024問題(現時点で不具合があるとの報告はない)		
	5.九州農業の更なる発展に向けて(海外への輸出を図る、鹿児島13.4億円茶を輸出。		
	「適正な価格形成に関する協議会」今国会での法律への落とし込みは断念されているが		
	次回以降の法律に反映されるようにと考えられている。		
	九州におけるモーダルシフトの導入等(標準パレットの導入) 6.環境と調和のとれた		
	食料システムの確立(九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワークR6.2.1開設。)		
	7.農業の持続的な発展(スマート農業、特定技能外国人のリレー派遣、農村RMO)		
	【まとめ・感想】今後も担い手不足は加速し農業を取り巻く環境は年々厳しくなっていくが、		
	九州農政局として直面する課題に対応する施策展開を学ぶことができた。内容のボリューム		
に比べ講義時間が短く、詳しい説明までなかったのが残念であった。			
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費	(嬉野～武雄温泉～鳥栖～熊本～会場)	10,160
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		10,160

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口 卓也

開催月日	令和6年5月23日		
開催時間	12時～13時		
開催場所	グランメッセ熊本		
主催者	RX Japan株式会社		
研修会等の名称	農業WEEK 通称:J-AGRI(ジェイアグリ)		
講師等の氏名等	北海道大学大学院農学研究院 院長 野口伸 氏		
内容・結果等	【講義名】「持続的な農業を可能にするスマート農業」		
	スマート農業の特徴 1.自動化・ロボット化…人手不足解消、重労働からの開放		
	2.データ利用…農業技術の継承、リスク管理の高度化		
	3.超精密作業…農薬・化学肥料使用料の削減、栽培法の変革、生産の低コスト化		
	北海道大学院で、実際の圃場にローカル5Gを整備し、スマート農業の実装をされている。		
	研究室内で一人の学生が5台のトラクターを遠隔操作する実証など行っている。		
	2050年までに農業労働力1/4に減少し、農業者の減少が最大の食料問題。農業者1人で		
	4倍の作業量が求められる。スマート農業の技術発展の寄与が重要である。		
	【まとめ・感想】		
	スマート農業の将来像を垣間見ることができた講義であった。スマート農機は高額であるが、農家の方が買うことを想定しておらず、農作業を行うサービス事業体への委託を前提としているということで合点がいった。まだまだ先は長いと感じるが、技術の進歩に期待したい。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		前頁に記載